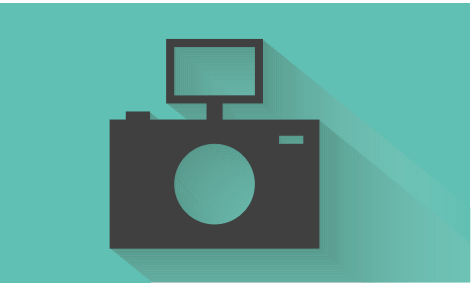


N-バス ワークショップの 開催



N-バスが運行開始から15年。これからのN-バスをよりよいものするため、現在路線の見直しに取り組んでいます。今回、将来のN-バスのあり方みんなで考えるためワークショップを開催しました。

N-バス ワーク ショップの 様子



毎回、とても活発な意見が出てきて、とても有意義なものとなりました。最後にはN-バスのあり方について意見をまとめました。このワークショップでの意見は、現在取り組んでいる路線見直しに反映させていきます。



N-バス担当者

公共交通交流会の開催（平成27年2月8日）

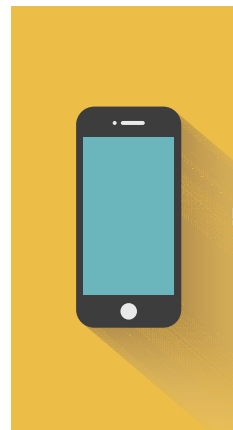
公共交通交流会では、みんなで様々な取組で交流しながら、公共交通について考えました。

- 地域公共交通会議会長 松本先生の講演
- N-バスワークショップの取組紹介
- 「公共交通みんなの声」



ワークショップメンバー
石黒さん

公共交通を育むため、「取組たいこと」や「アイデア」を出し合いました。



市役所経営管理課
(門前氏)

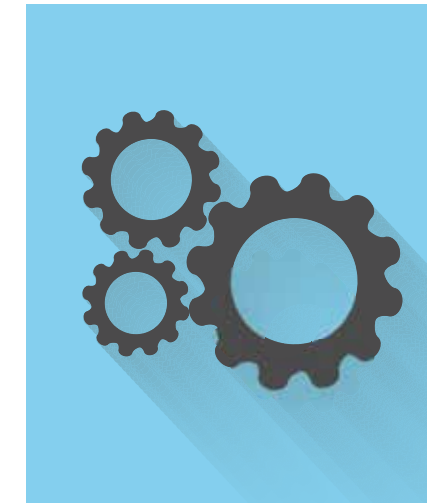


今回は運営上、少し硬い雰囲気になってしまいました。公共交通に身近な人もそうでない人も、みんなが親しみ、楽しみながら、意見をどんどん出し、交流を深めるようなイベントにするのが次への課題です。ただ、私たちは頭が固くて、なかなか楽しいイベントを思いつきません。ですので、イベントの企画に関してもみなさんのアイデアをいただきたいです。

「公共交通を育む」にはみんなの協力が必要なんだね。新たな取組も始まっていて、公共交通に興味が出てきた。たくさんの意見やアイデアが将来の公共交通のためになるといいな。僕もいろいろと企画してみたいな。



A君



N-バスワークショップで出た、N-バスのあり方



松本先生

そうだね。みなさんからいただいた意見やアイデアを実現へ向けて育んでいくことは、行政や事業者が公共交通の大切な役割の一つだから、この取組も次の展開へつなげていきたいね。公共交通は今後も私たちの生活を支える手段として重要な役割を果たすの同時に、人々の交流を深める「まちの装置」ともいえるから、公共交通を使ってみんながつながるまちにしたいですね。

みんなで育む公共交通についてお伝えしました